



かしわざき

市議会だより

令和元年(2019年)7月20日 発行

No. 177

発行
柏崎市議会
印刷
柏崎インサツ

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.lg.jp>



議席

3 樋 口	4 持 田	15 佐 藤 〔正〕	16 飯 塚	17 荒 城	18 相 澤	19 佐 藤 〔和〕	20 若 井	21 真 貝	22 春 川	25 星 野 〔正〕	26 斎 木
1 三 宮	2 重 野	9 笠 原	10 村 田	11 布 施	12 近 藤	13 山 本	14 阿 部	23 柄 沢	24 上 森		
		5 星 野 〔幸〕	6 秋 間	7 田 邊	8 白 川						

主な内容

- 正副議長挨拶、議会の構成など 2 P
- 議員紹介(顔写真) 3 P
- 6月定例会議の主な議案、常任委員会報告など
..... 4~5 P
- 議決一覧・賛否一覧 6 P
- 一般質問 7~17 P
- 政務活動費会計報告 18~19 P
- 災害対策支援本部・編集後記など 20 P

本市議会だよりでは、改選後の議員の紹介や、委員会、会派など、議会の構成を掲載しています。

4月21日に議員定数26人で執行された市議会議員選挙後、5月24日に改選後初の議会となる随時会議を開催し、議長、副議長選挙などを行いました。

5月24日に改選後初の
随時会議を開催



副議長
佐藤 和典



議長
真貝 維義

市民に信頼される議会、市民の信託に応えられる議会を目指します

正副議長就任挨拶

真貝維義議員が議長に、佐藤和典議員が副議長に、それぞれ当選、就任しました。

正副議長選挙

5月随時会議
真貝議長、佐藤(和)副議長を選出

5月随時会議

柏崎市議会議長・副議長の就任に当たって、一言御挨拶を申し上げます。

議会は、市民の代表機関として、地方自治法を遵守し、情報公開と説明責任の遂行、透明性と公平・公正の確保、政策活動等への多様な市民参画の促進、執行機関との抑制と均衡のとれた関係の保持及び政治倫理の向上を図る責務があります。

私たちは、協力・団結し、市民に信頼される議会、市民の信託に応えられる議会、そして誇りある議会を議員各位とともに構築していきます。皆様の御理解、御支援を心からお願ひ申し上げます。就任の御挨拶いたします。

新潟県後期高齢者医療
広域連合議会議員選挙

齋木裕司議員が新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員に当選しました。

改選後の柏崎市議会の構成

●会派

会派名	代表者	所属議員
民社友愛	相澤 宗一	佐藤 和典
日本共産党柏崎市議員団	持田 繁義	樋口 良子
自治研究会	村田幸多朗	布施 学
社会クラブ	笠原 晴彦	秋間 一英 星野 幸彦
公明党	若井 恵子	真貝 維義
柏崎のみらい	飯塚 寿之	佐藤 正典
柏盛クラブ	重野 正毅	三宮 直人
柏崎の風	柄沢 均	阿部 基 白川 正志 田邊 優香 齋木 裕司 星野 正仁 春川 敏浩 上森 茜 山本 博文
会派に所属しない		荒城 彦一 近藤由香里

※届出順に掲載しています

●常任委員会 (◎委員長・○副委員長、各常任委員会に議長は所属しません)

総務常任委員会

◎相澤 宗一 ○春川 敏浩
持田 繁義 笠原 晴彦 布施 学 山本 博文 飯塚 寿之 若井 恵子 上森 茜

文教厚生常任委員会

◎柄沢 均 ○重野 正毅
樋口 良子 秋間 一英 田邊 優香 近藤由香里 佐藤 正典 星野 正仁

産業建設常任委員会

◎三宮 直人 ○阿部 基
星野 幸彦 白川 正志 村田幸多朗 荒城 彦一 佐藤 和典 齋木 裕司

広報広聴常任委員会

◎佐藤 正典 ○布施 学
三宮 直人 重野 正毅 樋口 良子 星野 幸彦 山本 博文 相澤 宗一 若井 恵子
春川 敏浩 柄沢 均

●議会運営委員会 (◎委員長・○副委員長)

◎星野 正仁 ○持田 繁義
三宮 直人 笠原 晴彦 村田幸多朗 阿部 基 飯塚 寿之 相澤 宗一 若井 恵子
柄沢 均

議員を紹介



1 三宮 直人②

南条3056
25- 946



2 重野 正毅②

北園町19- 7
24- 671



3 樋口 良子①

西山町坂田385-17
47-2773



4 持田 繁義⑧

北条2922-1
25-3484



5 星野 幸彦①

半田二丁目18-16
21-2848



6 秋間 一英①

新道2756- 1
24- 776



7 田邊 優香①

ゆりが丘16- 3
24- 670



8 白川 正志①

大久保二丁目1-14
22-7517



9 笠原 晴彦③

加納864-1
41-6133



10 村田幸多朗④

高柳町門出356
41-2453



11 布施 学②

四谷一丁目10- 3
23- 666



12 近藤由香里①

東本町二丁目5- 2- 07
090- 834- 982



13 山本 博文②

上輪新田385
26-2313



14 阿部 基②

山室2329
27-2039



15 佐藤 正典②

番神一丁目2-18
23-6425



16 飯塚 寿之⑤

米山台二丁目12- 4
080- 914- 347



17 荒城 彦一⑤

扇町3- 3
24- 652



18 相澤 宗一③

比角一丁目6-12-105
090-5500-5375



19 佐藤 和典③

田中19-33
23-9820



20 若井 恵子⑥

下田尻2255-2
24-8930



21 真貝 維義⑦

春日一丁目6- 4
23- 932



22 春川 敏浩③

堀1396
24- T27



23 柄沢 均②

西港町4-30
41-6553



24 上森 茜②

荒浜三丁目13-95
24-1556 (事)



25 星野 正仁④

古町659
29-2470



26 齋木 裕司⑤

西山町鎌田1528
47- 244

議席番号・氏名・当選回数

住 所

連絡先電話番号(事)は、事務所または勤務先

6月定例会議

6月定例会議は、6月5日から25日まで行われました。

審議した案件は、市長提出議案23件、議員提出議案2件、請願2件で、全ての案件を原案可決(同意・採択)しました。ここでは、審議した主な議案について御紹介します。また、議決一覧及び賛否一覧(6ページ)もあわせてごらんください。

一般質問は3日間にわたり、20人の議員が行いました。(一般質問は7ページから掲載)



採決の様子

委員会発案・議員発案

▼少人数学級の早期実現を求める意見書(案)
※賛成多数により可決

▼義務教育費国庫負担制度堅持・拡充を求める意見書(案)
※賛成多数により可決

可決した意見書の詳しい内容は、市議会ホームページをごらんください。

一般会計補正予算(第3号)を可決しました

補正予算の主なものは、次のとおりです。

なお、各常任委員会での審議内容は、4ページから5ページまでに掲載している常任委員会報告をごらんください。

▼企業立地事業(製造業を営む企業が市内に工場等を取得し、新規常用雇用者が増加したことに伴う企業立地促進助成金の追加措置)
4千142万5千円

▼文化振興支援事業(「柏崎古典フェスティバル」の開催財源として申請していた文化

庁補助金が採択となったことに伴う増額措置) 301万円

▼県立アクアパーク整備事業(外壁タイルの剥落に伴う屋外通路に防護壁を設置する経費) 170万5千円

契約の締結

次の契約を締結することについて、全会一致で可決しました。

▼比角小学校管理特別教室・体育館棟大規模改修(建築本体)工事
【相手方】株式会社阿部建設

【金額】2億4千310万円

▼半田小学校大規模改修(建築本体)工事
【相手方】村田建設株式会社

【金額】2億2千198万円

人事案件に同意

▼監査委員

若井 恵子 氏(新任)

総務常任委員会

令和元(2019)年6月定例会議では、議案13件を審査しました。
主な質疑について報告します。

委員長 相澤 宗一
副委員長 春川 敏浩
持田 繁義
等原 晴彦
布施 博学
山本 寿之
飯塚 恵子
若井 茜
上森

令和元(2019)年度一般会計補正予算(第3号)

地域おこし協力隊活用事業

100万円

事業の概要

地域おこし協力隊になろうと希望している方と受け入れ地域とのマッチングを図るための経費やその他募集、相談を進めるための経費。

主な質疑

問 今後のマッチングに際する市のかかわり方は。

答 地域が望む人材が見つかるまで、何回でも地域に入り課題を聞き取るなど支援をする。

し尿処理施設整備事業

5千830万円

事業の概要

し尿処理場の自動制御装置の劣化が激しいため、制御システムを改修する経費。

主な質疑

問 今回の改修にて全て完了するのか。

答 今回のソフト作成を経て、来年さらなる改修を予定している。

今年度実施するシステム改修に係る設計を経て、来年度システム更新のための改修を抜本的に行いたい。

原子力防災対策事業

104万円

事業の概要

全世界に配布を予定している原子力防災に関する地区別リーフレットの作成経費。

主な質疑

問 リーフレット内容は。

答 わかりやすく市民に伝わるよう、原子力災害時の具体的な行動を理解してもらうため、地域に沿った内容とする。

文教厚生常任委員会

令和元(2019)年6月定例会議では、議案4件を審査しました。
主な質疑について報告します。

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 樋口 良子 |
| 副委員長 | 柄沢 均 |
| 重野 正毅 | 秋間 一英 |
| | 田邊 優香 |
| | 近藤由香里 |
| 星野 正仁 | 佐藤 正典 |
| | 星野 正仁 |

令和元(2019)年度 一般会計補正予算(第3号)

未婚の児童扶養手当受給者 臨時・特別給付金給付事業

318万8千円

▼事業の概要

10月からの消費税率引き上げに伴い、児童扶養手当受給者のうち、未婚のひとり親に対し、児童扶養手当を上乗せ給付するため、国の施策として実施される臨時・特別給付金給付に係る経費。

▼主な質疑

問対象者数はどの程度を見込んでいるのか。「臨時」とあるが、今回限りの給付事業なのか。

答10月31日を基準日としており、対象者数を70人と見込んでいる。「臨時」なので、今回のみの給付となる。

市からの報告事項

第二期子ども・子育て支援 事業計画ニーズ調査結果

▼報告の概要

第二期子ども・子育て支援事業計画(令和2(2020)～6(2024)年度)策定のためのニーズ調査結果。この結果に基づき、子ども・子育て会議等を開催し、今年度末には事業計画を策定する。

▼主な質疑

問柏崎市の子育てのよさを掘り起こし、それを計画に反映してほしい。

答アンケートの自由記載の部分で市民の意見をくみ取り、よい部分をさらに伸ばす視点を持って検討したい。

問利用者のニーズを大事にすることはもちろんだが、保育園等で働く方の処遇改善にも取り組んでほしい。

答会議のメンバーには保護者のみならず労働団体関係者もいるので、全体の意見を聞きながら進めていく。

産業建設常任委員会

令和元(2019)年6月定例会議では、議案9件を審査しました。
主な質疑について報告します。

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 星野 幸彦 |
| 副委員長 | 三宮 直人 |
| 阿部 基 | 白川 正志 |
| | 村田幸多朗 |
| | 荒城 彦一 |
| 斎木 裕司 | 佐藤 和典 |
| | 斎木 裕司 |

西山ふるさと公苑設置 及び管理に関する条例の 一部を改正する条例

▼議案の概要

管理、運営を指定管理者へ移行するための改正。

▼主な質疑

問指定管理にする目的と行政改革として、コスト削減の成果をどの程度見込んでいるのか。また、地元の意向を確認しているのか。

答現時点では地元と協議はしていないが、民間事業者のネットワークを活用した講座や専門的技術を生かしたイベントの開催が期待できる。また、コスト面では50～100万円程度削減を見込んでいる。

手数料条例の一部を 改正する条例

▼議案の概要

建築基準法の一部改正に伴う手数料等の改正。

▼主な質疑

令和元(2019)年度 一般会計補正予算(第3号)

ため池等整備事業負担金

5千4万円

▼事業の概要

防災、減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策事業。

▼主な質疑

問当初予算より多額な補正額となった理由と対象となったため池は市が要望したのか。

答今回は、国土強靱化の増加した部分を補正で計上した。当初予算部分については、年度末までには国による調整が見込まれる。また、整備するため池等は、人的被害防止を優先して国、県が選定した。

5月随時会議

5月随時会議は5月24日に行われました。審議した案件は、市長提出議案6件で、全ての案件を原案可決しました。

ここでは、審議した主な議案について御紹介します。また、議決一覧(6ページ)もあわせてごらんください。

一般会計補正予算(第2号)を可決しました

補正予算の主なものは、次のとおりです。

▼漁港整備事業(荒浜漁港に堆積した大量の砂をしゅんせつする経費) 4千万円

▼水球のまち柏崎推進事業(セルビア共和国男子水球チームが市内滞在中に日本代表チームとスパリングマッチを行うための経費) 199万円

6月定例会議 議決一覧

市長提出議案		議決状況	議決結果
件名			
令和元(2019)年度一般会計補正予算(第3号)		全会一致	原案可決
令和元(2019)年度一般会計補正予算(第4号)		〃	〃
令和元(2019)年度水道事業会計補正予算(第1号)		〃	〃
消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		賛成多数	〃
税条例の一部を改正する条例の制定について		全会一致	〃
廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び環境基本条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
火災予防条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
西山ふるさと公苑設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
手数料条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		賛成多数	〃
工業用水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
下水道条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
西山自然体験交流施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全会一致	〃
財産の取得について(除雪ドーザ(11t級))		〃	〃
財産の取得について(除雪ドーザ(14t級))		〃	〃
財産の取得について(救助工作車)		〃	〃
財産の取得について(高規格救急自動車)		〃	〃
財産の取得について(小型動力ポンプ付積載車(3台))		〃	〃
契約の締結について(比角小学校管理特別教室・体育館棟大規模改修(建築本体)工事)		〃	〃
契約の締結について(半田小学校大規模改修(建築本体)工事)		〃	〃
監査委員の選任について		〃	同意
人権擁護委員候補者の推薦について		〃	〃
平成30(2018)年度一般会計継続費繰越計算書		—	報告
平成30(2018)年度一般会計繰越明許費繰越計算書		—	〃
平成30(2018)年度介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書		—	〃
平成30(2018)年度水道事業会計継続費繰越計算書		—	〃
平成30(2018)年度下水道事業会計継続費繰越計算書		—	〃
平成30(2018)年度水道事業会計予算繰越計算書		—	〃
平成30(2018)年度下水道事業会計予算繰越計算書		—	〃
柏崎市土地開発公社経営状況報告書		—	〃
公益財団法人柏崎地域国際化協会経営状況報告書		—	〃
専決処分報告について(道路上の事故による和解及び損害賠償額の決定について)		—	〃
専決処分報告について(自動車事故による和解及び損害賠償額の決定について)		—	〃

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書(案)が議員から発案され、意見書(案)を先に採択しましたので、その議決結果をもって請願が採択または不採択されたものとみなします。
 ※陳情は、議会に報告するのみで、審議はしていません。

議員提出議案		議決状況	議決結果
件名			
少人数学級の早期実現を求める意見書(案)		賛成多数	採択
義務教育費国庫負担制度堅持・拡充を求める意見書(案)		〃	〃

請願・陳情		議決状況	議決結果
件名			
少人数学級の早期実現に係る意見書の採択を求める請願		みなし	採択
義務教育費国庫負担制度堅持・拡充に係る意見書の採択を求める請願		〃	〃
新たな過疎対策法の制定に関する意見書等の提出について(お願い)		—	報告
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情		—	〃
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情		—	〃
日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書		—	〃

5月随時会議 議決一覧

市長提出議案		議決状況	議決結果
件名			
令和元(2019)年度一般会計補正予算(第2号)		全会一致	原案可決
令和元(2019)年度介護保険特別会計補正予算(第1号)		〃	〃
税条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
新潟県柏崎港公園管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		〃	〃
財産の無償貸付について(土地並びに温泉権及び機械装置等)		〃	〃
専決処分報告について(税条例等の一部を改正する条例)		—	報告
専決処分報告について(都市計画税条例の一部を改正する条例)		—	〃
専決処分報告について(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		—	〃
専決処分報告について(固定資産税の課税誤りによる和解及び損害賠償額の決定について)		—	〃
専決処分報告について(固定資産課税台帳の登録誤りによる和解及び損害賠償額の決定について)		—	〃

3月随時会議 議決一覧

陳情		議決状況	議決結果
件名			
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情		—	報告

議員賛否一覧(6月定例会議の採決において賛否が分かれた議案)

議決日	議案	三宮直人	重野正毅	樋口良子	持田繁義	星野幸彦	秋間一英	田邊優香	白川正志	笠原晴彦	村田幸多朗	布施学	近藤由香里	山本博文	阿部基	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	真貝維義	春川敏浩	柄沢均	上森茜	星野正仁	齋木裕司
		6月25日	消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
6月25日	上水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
6月25日	工業用水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
6月25日	下水道条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
6月25日	農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
6月25日	少人数学級の早期実現を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×
6月25日	義務教育費国庫負担制度堅持・拡充を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 退は退席 真貝維義議長は採決に加わりません。

イノシシ駆除対策



春川 敏浩 議員

- 1 投票率の現状と課題について
- (1) 投票率の向上について
- (2) 学校教育における投票行動への指導方針について
- (3) 投票所のあり方について
- 2 イノシシ対策の徹底について
- 3 買い物支援対策について
- (1) 市内移動販売の実態について
- (2) 買い物支援路線バス試行運行について

市民の多くの皆様からイノ

シシ被害が相次いで何とかしてほしいとの要望が各地である。西山町、米山台付近、そして、鯨波コミセン付近まで出没しているのは驚く。人的被害は発生していないが予断を許さない。

活動しているが、本市でも組織し協力できないか。また、上越市柿崎区では民間業者がジビエとして営んでいる。自治体間で協力体制を取っていくことを研究しているのか。

て人身被害等が生じないように対応している。

◎市長

国の補助を受けて猟銃による捕獲や電気柵等の設置を実施している。県は指定管理鳥獣捕獲としてイノシシの駆除を行っている。本市の対策としては、通報があった場合、夜間休日問わず担当職員、猟友会及び警察などが連携し

一般質問

市政のことが知りたい 市政にこれを提案したい

(質問の全項目を冒頭に記載、その内容の一部を掲載しました)

議会に対する 櫻井市長の政治姿勢をたず



佐藤 和典 議員

- 1 櫻井市長の政治姿勢
 - (1) 強く、やさしく、肝要な柏崎市議会とは
 - (2) 櫻井流のリーダーシップ
 - (3) 原子力発電所にかかわる議論
 - (4) 市民目線での議論の充実
- 2 行財政改革は不断の努力
 - (1) 事業峻別の基準
 - (2) 今後の事業峻別のあり方
 - (3) 柏崎市第三次行政経営プラン

去る4月21日、柏崎市議会議員選挙が行われ、26人の新しい議員の当選が決まった。櫻井市長が新しい柏崎市議会に望む「強く、やさしく、寛容(肝要)な柏崎市議会」とは、一体どういった意味なのか伺いたい。

また、任期の折り返し地点を過ぎ、ますますパワーアップし多種多様な施策を打ち出しつつ、自らが前面に出るといふ市長のリーダーシップ論とはどういふものか伺いたい。

一方、柏崎市の大きな課題である原発再稼働について、

市長は私たち市議会とどういふ論点で議論を進めていきたいのか考えを伺いたい。

最後に、残り任期2年弱の現在、市長は新しい26人の議員とどのような観点での論戦を期待しているのか伺いたい。

◎市長
「強く、やさしく、寛容(肝要)な柏崎市議会」とは、お互いの違いを認め合う寛容な議会ということ。率直な議論を行うことで、市民にとって大切な存在、肝要な議会になってほしいと期待している。

また、リーダーシップ論とは、「少し変わる勇氣」を持ち、私自身が変革者となることである。職員にも創造かつ想像しながら施策を展開するようにと指示している。

原発再稼働については、これまでの議論を踏まえ、原発とどう向き合うのか。また、どう向き合っていくことが、市及び市民にとってよいのか、各議員が十分に考え、議場で提案や議論を行ってほしい。

最後に、議員各位とは危機感を共有しながら、不偏不党の立場で論戦を行いたい。

圧倒的に不足している 特別養護老人ホーム増設の 早急な実現を



樋口 良子 議員

- 1 特別養護老人ホーム増設の必要性と課題について
 - 2 事業峻別にかかわるいくつかの問題点について
 - (1) 住民合意をどのように図ったのか
 - (2) 西山町事務所から西山維持係が本庁に統合されたことについて

私は両親の介護のため、ふるさと西山に帰ってきた。父を見送った後、母を自宅で介護した。体調を崩してやむを得ず特別養護老人ホームを申し込んだが、定員いっぱい

のことで、すぐに入所できず大変苦労した。92歳のある女性は、94歳の夫を自宅で介護している。特別養護老人ホームはいっぱいですが、すぐに入所できないと言われ、仕方なく自分で見ているとのこと。

このように、多くの方が自宅での介護が限界になり、わらをもつかむ思いで特別養護老人ホームを申し込んでも入所できないで苦労しておられる。900人以上の待機者に早急に対応することは、介護保険の保険者である市長の喫

緊の責務である。比較の利用料が低額な特別養護老人ホームを一刻も早く増設すべきと考えるが、見解を伺う。

◎市長
市では、特別養護老人ホーム入所を待つ方々も含め、在宅で介護を行っている介護者の御負担や御不安、御難儀を少しでも軽減するため、グループホームや小規模多機能型居宅介護といった地域密着型サービスを中心とした基盤整備を進めている。待機者数

の推移から見ても、特別養護老人ホームの新規整備の是非を早急かつ具体的に検討する時期に来ていると考える。その際には、深刻な介護人材不足の状況のもと、新規に整備したとしても運営していくことが可能ななどを、慎重に検討していく必要がある。加えて施設寿命と維持管理を考えれば、今の状況のみならず将来的な人口動態やニーズも考慮しなければならぬ。現状のより精緻な定量的分析を今年度から着手するよう担当課には指示したところである。

人口減少社会における コミュニティの

新たな役割、方向性



飯塚 寿之 議員

行政は市民の命と健康、財産を守る責任、役割がある。しかし、財政が縮小していく現実の中で、公がやってきた

- 1 人口減少社会におけるコミュニティのあり方について
- 2 柏崎市の持続可能な財政運営について
- (1) 厳しい県財政が市の財政、市民サービスに及ぼす影響とその対策
- (2) 本年度、並びに本年度以降の事業峻別の取り組みについて

役割も全部が全部果たせなくなってきたことも現実である。そのことを認識しつつ、地域づくりを努めていかなければならない。つながり、支え合い、地域住民の自主的な課題解決力の高さも「豊かさ」である。地域力が高まったかどうかはコミセン利用数だけでなく、町内会の活動団体、地域の団体という地縁組織などに「つながっている人」の数をふやす、「無縁社会と逆の地域社会をつくる」ことも、地域力の高さをあらわす指標とすべきではないか。住民満

◎市長
地域コミュニティの運営は、住み慣れた所で暮らしていく方を自主的に地域自身で考えることも必要である。少子高齢化が進行する中、地域コミュニティを維持していく上で、地域コミュニティの統合や今まで行っ

いた事業の見直しをすること
も今後必要と思われる。
若い方々が将来的に地域のリーダーになるよう人材を育成することは大事だが、あえてリーダー塾をつくることなくそれぞれの組織、コミュニティの中で人材が育つてきているものも考える。
さらに市民活動支援課の職員にも、地域コミュニティのマネジメントをしてもらえらるようなリーダーを育成するという課題を意識化させていきたい。

道の駅「風の丘米山」



山本 博文 議員

- 1 道の駅「風の丘米山」について
- (1) 現在の状況と今後の計画について
- (2) 地域要望も含めた実行可能性について
- 2 クリーンデー柏崎と海岸漂着ごみについて
- (1) クリーンデー柏崎の現状と今後の取り組みについて
- (2) 海岸漂着ごみの回収と今後の取り組みについて
- 3 市内スポーツ施設の利用性向上について
- (1) 現在の施設状況と利用

道の駅「風の丘米山」は市内青海川の高台にあり、2015年4月より4年余り休止状態になっている。今年の3月、道の駅米山再整備可能性調査の検討状況が報告され、最終的に3つの案に絞られた事が報告された。そして、6月5日に産業振興部より再整備の方針として日本海フィッシュヤーマンズケープを道の駅と位置づける

◎市長
今回打ち出した再整備方針による整備を進めることのできれば、既存の民間施設の活用や国との連携により、課題となってきた立地条件や誘客の問題が解決できるものであり、西部地区はもちろんのこと、柏崎市の観光の柱になると期待している。

加えて、既存のエリアにおいても、道の駅としての基本構成要件である、トイレや休憩機能などの整備や、駐車場の確保などの環境を整えることで、災害時の一時避難所としての機能にも活用できるものと考えている。今回の再整備方針については、国や関係事業者との協議を進める中で、それぞれの合意が得られるならば、慎重かつ丁寧に調整を進めたい。
なお、現実には非常に厳しい状況であることを申し上げる。

現場に光を当てた 介護人材確保



近藤由香里 議員

1 現場に光を当てた介護人材の確保について

(1) 人材確保施策の成果と課題

(2) 仕事に対する理解促進

(3) 働きにくさを支えるマンプワアの確保

2 救命の連鎖をつなぐまちづくりについて

(1) 心肺蘇生法・AED使用の普及について

(2) AED地域格差を埋めるために

介護人材確保のための施策の成果を上げるには、現場の利用者数が減少しているから業務の見直しを行い適正な職員数にすることは理解するが、市民と行政を結ぶ大切な役割を担っている高柳町事務所の窓口手続を市民の理解を求めないまま、一方的に高柳町地区外の市民に対して利用させない地域制限をすることまで必要だったのか。

また、高柳町事務所の利用方法を変更することを決定してから約1週間という短期間で実施しなければならなかった理由と、利用地域の制限について見直す考えがないのか

実態に沿っていることが必要だと考える。

事業峻別による原資をもとにした介護夜勤対応者臨時補助金は、県内自治体初の試みとして注目と期待が寄せられ、介護職の方々にとって希望につながる事業だと思う。

だが介護事業者からは、2年間の期限つき臨時補助金であることを不安視する声があり、対象でありながらも申請していない事業所もある。

2年を過ぎても各現場で夜勤手当増額分を維持できるよう、本事業を継続する考えがあるか伺いたい。

また、できるだけ多くの介護職の方々が、処遇改善の対象となるよう、未申請の事業所に働きかけて、利用率向上を図ってはどうか。

◎市長

介護夜勤対応者の処遇改善、離職防止を図る初の試みとして、夜勤手当を増額する事業者に対して、その増額分を補助する介護夜勤対応者臨時補助金を創設し取り組んでいる。その財源は、昨年度実施した事業峻別により捻出した一般財源を充てている。

本補助事業の成果は、今後の申請状況や介護関係者の御意見などを聞きながら評価していくことになる。その結果により、継続・拡大の是非や、見直しを検討し、より取り組みやすく効果が期待できる施策を展開して、介護人材確保・育成支援を進めたい。

また、未申請の事業所の中には、全国展開をしている事業所もあり、全体への影響を考え検討しているところもある。再度、補助金の趣旨を事業所に説明し利用を促したい。

高柳町事務所の窓口利用制限



阿部 基 議員

1 高柳町事務所の利用地域制限について

(1) 高柳町事務所の窓口業務見直しによる地域制限について

(2) 市民への周知方法について

(3) 今後の公共施設の統廃合計画について

利用者数が減少しているから業務の見直しを行い適正な職員数にすることは理解するが、市民と行政を結ぶ大切な役割を担っている高柳町事務所の窓口手続を市民の理解を求めないまま、一方的に高柳町地区外の市民に対して利用させない地域制限をすることまで必要だったのか。

また、高柳町事務所の利用方法を変更することを決定してから約1週間という短期間で実施しなければならなかった理由と、利用地域の制限について見直す考えがないのか

利用者が減少しているから業務の見直しを行い適正な職員数にすることは理解するが、市民と行政を結ぶ大切な役割を担っている高柳町事務所の窓口手続を市民の理解を求めないまま、一方的に高柳町地区外の市民に対して利用させない地域制限をすることまで必要だったのか。

また、高柳町事務所の利用方法を変更することを決定してから約1週間という短期間で実施しなければならなかった理由と、利用地域の制限について見直す考えがないのか

柏崎市支所設置条例が施行され、平成27年4月に合併前の高柳町を所管区域と定めた高柳町事務所が設置された。昨年度、人口減少の実態や窓口申請件数等を踏まえ、客観的な事実に基づき業務の適正化や人員の見直しを行い、支所機能のスリム化を行った。4月からは、石黒地区住民への住民票等の出前交付サービスの試行実施や、証明書交付の事前電話予約など、新体制でも、住民に寄り添い、よりきめ細かなサービスを提供し、高柳町地域住民へのサービス低下とならないよう取り組んでいる。なお、高柳町地域以外の方が来所した際は、提供できる窓口サービスについて対応するとともに、利用方法の変更を説明し理解をいただいている。高柳町事務所の利用変更は、市長の責任で判断した。周知が1週間というのは短いと言えは短い。しかし、利用方法をすぐに再変更するのではなく、1年間様子を見て検証していきたい。

歩行者(通園・通学)の安全対策



星野 正仁 議員

- 1 河川の現状と課題
 - (1) 河川の現状と今後の取り組みについて
 - (2) 河川の護岸整備の実施と桜の植樹。ウォーキング・サイクリングロードの整備の取り組みについて
- 2 市民の命と健康を守る取り組みについて
 - (1) 市民の命と健康を守ることは
 - (2) 歩行者(通園・通学)の安全対策について
 - (3) ゲーム依存症の現状と課題について

大津市で発生した交通事故は、園児2人の尊い命が奪われ、さらに園児、保育士合わせて14人が重軽傷を負った大変痛ましい交通事故である。国もこの交通事故を受け安全確保に向けての点検や、対策を図る自治体に対し支援の拡充を講じる動きがあると報道されている。

柏崎市で発生しないように早急な通学路・通園路の安全対策の検証と、さらなる対策が必要と考えるが、現在の取り組み状況・通学路安全プログラムの見直しについて伺う。

特に心配な場所として、保育園前の道路環境がよくない保育園がある。地域への啓発を行うとともに、キッズゾーンが必要ではないか。

最後に川崎市で起きた事件を鑑みて、通学路の再点検など対応を行ったのか。

◎市長
警察や国、県、PTA等の関係機関で組織する柏崎市通学路安全推進協議会では、通学路の安全を確保するため、各学校から寄せられた通学路の点検結果に基づいて、現地

の安全確認を毎年行っている。今後も、実態把握により、必要な対策を講じ、柏崎市交通安全プログラムをもとに、通学路の安全に努めていく。

保育園周辺の道路環境については、保護者を初めとする保育園関係者や地域住民の皆様との合意を得ながら対応していく。

川崎市の事件を受けての通学路の再点検は行っていないが、市では、学校と地域が一体となった取り組みや活動を支援し、安全・安心なまちづくりを推進する。

柏崎市が考えるひきこもり支援の目的



重野 正毅 議員

- 1 柏崎市における8050問題への対策
 - (1) 8050問題の捉え
 - (2) ひきこもり支援センターの支援状況
- 2 学校における防犯セキュリティ
 - (1) 通常の授業日における学校の来校者への対応
 - (2) 放課後児童クラブの訪問者への対応

8050問題は簡潔にいうと、80代の親が50代のひきこもりの子どもの生活を支えている問題ということ。ひきこもりは本人や家族だけの問題ではなく、社会問題が表出している。と捉え、社会全体でサポートしていく体制を組むことが求められている。内閣府が公表した40〜64歳までのひきこもりが全国でおよそ61万3千人ということから、柏崎市の中高年のひきこもりはおよそ400人となる。柏崎市では昨年度から「ひきこもり支援センター(アマ・テラス)」を市の直営として立ち上げた。全国的に見ると、ひきこもり支援はなかなかうまくいっていない状況がある。

支援のゴールを「就労」にしていることが理由の一つにあるようだ。柏崎市が考えるひきこもり支援の目的やゴールの設定を伺う。

◎市長
ひきこもり支援の目的は、ひきこもりの方だけでなく、御家族も含めた支援でなければならぬ。センターでは、居場所づくりや親の会などを行うことで、ひきこもりの方やその御家族が、その人らしい生き方や社会参加、あるいは少しでも心休まる生活を送

れることを目的としている。長期にわたり社会から遠ざかっていった方のゴールを「就労」とすることは、とても乱暴であり、再びひきこもり状況へとつながりかねない。

ひきこもりの方のゴール設定は、さまざまな理由が複合的に絡まり長時間社会から遠ざかっていった以上、単純かつ簡単なものではない。センターでは、その方や家族に寄り添い、その人らしい生き方や社会参加の仕方を、時間をかけていくことが大切と考える。

人と人とのつながりを 「まちのチカラ」に



白川 正志 議員

世界的にインパクトを与えたアメリカで発表された148研究(対象者およそ30万人)をメタ解析した研究結果で、肥満解消、運動、禁煙よりも「人とのつながり」が長生きへの影響力が高いこ

- 1 重点戦略1「健康・元氣・いきいき戦略」。介護予防における人と人とのつながりについて
- 2 重点戦略2「産業イノベーション戦略」。新たな産業興しにつなげるトウルール・イノベーションについて

と、日本の研究でも「人とのつながり」が「運動」よりも寝たきりの危険度を下げることが明らかになってきている。コソコソ貯筋体操センターは、まちなかの拠点性を生かした買い物支援や地域経済振興など、複合的な目的に資する場という分野横断的な取り組みの象徴となるよう期待する。施設活性化のポイントは人に焦点をあて、あの人と会うためという仲間の絆が育ち役割を感じる支援にあると考える。人と人との良好な関係性、互いの信頼関係や思いやりを

と、日本の研究でも「人とのつながり」が「運動」よりも寝たきりの危険度を下げることが明らかになってきている。コソコソ貯筋体操センターは、まちなかの拠点性を生かした買い物支援や地域経済振興など、複合的な目的に資する場という分野横断的な取り組みの象徴となるよう期待する。施設活性化のポイントは人に焦点をあて、あの人と会うためという仲間の絆が育ち役割を感じる支援にあると考える。人と人との良好な関係性、互いの信頼関係や思いやりを

まちなかの拠点性を生かした買い物支援や地域経済振興など、複合的な目的に資する場という分野横断的な取り組みの象徴となるよう期待する。施設活性化のポイントは人に焦点をあて、あの人と会うためという仲間の絆が育ち役割を感じる支援にあると考える。人と人との良好な関係性、互いの信頼関係や思いやりを

まちなかの拠点性を生かした買い物支援や地域経済振興など、複合的な目的に資する場という分野横断的な取り組みの象徴となるよう期待する。施設活性化のポイントは人に焦点をあて、あの人と会うためという仲間の絆が育ち役割を感じる支援にあると考える。人と人との良好な関係性、互いの信頼関係や思いやりを

私ほこれまで、移住・定住促進の分野において、個人的なものも含めて人脈をフルに活用し泥臭く取り組むよう、職員に指示をしてきた。今後、人と人との結びつきを重視した、総合的な「まちのチカラ」を高めていく取り組みを、分野横断的に進めたい。

私ほこれまで、移住・定住促進の分野において、個人的なものも含めて人脈をフルに活用し泥臭く取り組むよう、職員に指示をしてきた。今後、人と人との結びつきを重視した、総合的な「まちのチカラ」を高めていく取り組みを、分野横断的に進めたい。

当面の間、 原子力発電所は欠かせない



相澤 宗一 議員

- 1 エネルギーのまち柏崎2・5の進め方について
- (1) 再生可能エネルギーの自立時間
- (2) より安全性の高い原子力を追求すべき
- (3) 「ALL柏崎」に求めるもの
- 2 投票に行こう
- (1) 今夏の参議院議員選挙における投票率向上策について
- (2) 投票弱者への対応について
- (3) 若年層への動機づけについて

国際的な温暖化対策への長期的な戦略を求める「パリ協定」。それに基づき政府は、温室効果ガス排出量を実質ゼロとする日本の戦略案を閣議決定した。今世紀後半のできるだけ早期に「脱炭素社会」を実現するとし、2050年までに80%削減することも明記した。国際的な温暖化対策、脱炭素を真剣に考えたとき、再生可能エネルギーの普及または主力電源化は欠かせないが、まだまだ時間を要するものと

考える。当面の間は原子力発電所との共存が、「エネルギーのまち柏崎」2・5の推進には欠かせない。当面の間とは、再生可能エネルギーが経済的に自立し、脱炭素化した主力電源となるまでとの解釈でよいか伺いたい。

柏崎市地域エネルギービジョンでは、脱炭素社会である「新たなエネルギーのまち柏崎」(3・0)を目指すこととしているが、途上として当面の間、原子力発電所と共存

柏崎市地域エネルギービジョンでは、脱炭素社会である「新たなエネルギーのまち柏崎」(3・0)を目指すこととしているが、途上として当面の間、原子力発電所と共存

取得すべき課題は多くあるが、再生可能エネルギーの有効活用、次世代エネルギーの積極的な導入・活用についての研究を進め、他地域企業との連携を図りつつ、エネルギー関連産業の創出を図り、持続的に発展・高度化していくまちの形成を目指したい。

取得すべき課題は多くあるが、再生可能エネルギーの有効活用、次世代エネルギーの積極的な導入・活用についての研究を進め、他地域企業との連携を図りつつ、エネルギー関連産業の創出を図り、持続的に発展・高度化していくまちの形成を目指したい。

子育てに優しいまち



田邊 優香 議員

- 1 子育てに優しいまちへの取り組みについて
(1) 子ども医療費助成の拡充について
(2) 子育て支援策として子ども用紙おむつの助成への取り組みについて
(3) 子育て世代が利用しやすい公共施設について
(4) 子育て支援の情報発信のあり方について
- 2 公共交通(循環バス・デマンドバス)の現状と課題
(1) 高齢者ドライバーに対する運転免許証の早期返還を促進するための啓発活動

柏崎市も少子化がとても深刻な問題である。昨年の出生数は522人で、前年より25人減、過去10年間で最も少なく、過去最低だと聞いている。若い世代の家庭では、核家族化や低所得世帯が多く、子育てをしていくに当たり、とても大変な状況である。

子育てしていく中で必要不可欠な、紙おむつの負担を重

く感じることもある。子育て世帯の経済的負担を少しでも軽くし、子供を生み育てやすいと感じてもらえるように子育て支援の一環として、紙おむつの助成の取り組みについて市としてどのような考えなのか伺う。

◎市長
子育ての不安や負担の軽減のためには、精神的支援とともに経済的支援が重要であると認識している。

紙おむつの助成は日常を支えるという点において、大変

重要と考えるが、限られた予算においては、事業の実施は難しいと捉えている。

今後の子育て支援策は、妊産婦及び子ども医療費助成、3歳未満の子供のいる世帯への指定ごみ袋無料配布等の経済的支援を継続するとともに、気軽に保健師や助産師等に妊娠から就学まで相談できる、早期支援体制のさらなる充実に努める。加えて、少子化対策に資する有効な施策が何であるか経済施策を含め再検討し、子育てに優しいまちづくりに取り組んでいく。

現実、再稼働は著しく遠い



持田 繁義 議員

- 1 原子力防災の諸課題と原発再稼働との関係について
(1) 内閣府に対する要望(3・14)と到達について
(2) 住民等の防護対策の確実性のため、国へのさらなる要望。特に堅固な屋内退避施設(シェルター)整備の事業化について
(3) 柏崎刈羽原発の再稼働は著しく遠い事態と共有すべきではないか
- 2 新規自衛官募集の「適齢者」情報の提供問題について

柏崎刈羽原発の再稼働は、著しく遠い事態となっている。その根拠の一つは、新潟県中越沖地震を体験しているとともに、地震空白域で大地震が心配されている。原発の存在自体が、現実には反している。

二つは、実効性ある避難計画の策定には、課題を挙げればきりがない現状もある。三つは、使用済み核燃料の搬出も管理も全く見通しがつかない。このことは、原子力発電所の再稼働と切り離しては考えられない課題として、市長自身も述べられている。

加えて、特定重大事故等対処施設(テロ対策)整備では、予定すら見えない現状。住民の安全の徹底こそが何よりも最優先される必要を誰も否定できない。市長の見解を伺う。

◎市長
解決しなければいけない問題は確かにあるが、一つ一つ、県や国とも意見交換しながら解決をしていかなければならない。また、新たな問題提起があれば、それを伝えることも問題解決につながることも考えている。必ず、方向性は見

出していかなければならない事柄である。

原子力発電所の再稼働は認める立場であると言っているが、使用済み核燃料の問題、核燃料サイクルの明確な方向性がない中、原子力発電所が動き始めたとしてもすぐにとめざるを得ないのではないかと県・国に申し上げている。

したがって、私は著しく遠いとは考えていないが、目の前にあるとも考えていない。市・県・国が努力しながら問題を解決していく中で、近づけるのではないかと考える。

感覚刺激教具の 学校での使用許可を



上森 茜 議員

- 1 発達障がいを持つ子供が学校へ通うための支援について
- (1) 発達障がいの早期発見ができるシステムは確立されているのか。また、課題について
- (2) 学習補助教具の活用状況について
- (3) 今後の計画について

発達障がいなどを持ち学校に通う生徒が落ちついて授業を受けられることを目的とし、立ち歩き防止や集中力を持続させることができる学習補助教具「センサリーツール(感覚刺激教具)」が日本でも開発されるようになった。

このようなものを使うことで、安心して授業を受けられるのであれば、一人一人に合った「センサリーツール」を持たせることが必要ではないかと考える。また、導入したい

と言ったときに学校側がスムーズに受け入れられる体制の構築、持ち込むことへの他の児童・生徒や親御さんの理解を求めることが必要だと考えるが、教育長の見解を伺う。

◎教育長
感覚刺激教具は、市内のほとんどの小学校で使用されている。実際に感覚刺激教具を使用し、落ち着く場合もある一方で、あまり効果が見られないケースもあることから対象の児童・生徒の実態把握を丁寧に行い、その子に合った

教具を選定して適切な支援につなげていくことが重要である。

現在、対象の児童・生徒の障がいの特性の改善に効果が期待できると校長が判断し、許可した場合のみ学校で使用が認められる。教具の使用に際しては、児童・生徒の一人一人が適切な支援を受けられ、お互いの個性を認め合える学級づくりも同時に行う必要がある。こうした体制を基本として、安心して学べる環境づくりを進めていきたい。

人口減少対策としての 柏崎ファンクラブの 今後の発展構想



布施 学 議員

- 1 柏崎の魅力発信事業について
- (1) 柏崎ファンクラブの会員拡大と今後の発展構想について
- (2) 柏崎ファンクラブと電子マネーについて
- (3) ウェルカム柏崎ライフ応援ゲームについて
- 2 みちレポかしわざきについて
- 3 令和元年度の柏崎の農業について
- (1) 令和元年度の柏崎市内の生産数量設定と品種について

(2) 水田の渇水対策について

今や、どの地方自治体も人口減少、少子高齢化対策に頭を悩ませているかと思われる。柏崎市も人口減少対策として柏崎ファンクラブを設立したかと思う。

柏崎に関係する人、柏崎を愛する人、柏崎が大好きな人が、柏崎市のさまざまな魅力を自ら当市のセールスパースンとして発信していくことで、柏崎市の認知度を高め、柏崎市の活動人口がふえ、柏崎が

元気になることを目指すということは大切だと思われる。しかし、我々市民もまた、自ら柏崎市に誇りや矜持を持ち、柏崎市を愛する愛郷心が必要かと思われる。

このことをどのように醸成し、柏崎ファンクラブを発展、拡大していくのか見解を伺う。

◎市長
本市のシティセールスは、定住人口の増加を目指しており、愛郷心を育むための取り組みを積極的に進めている。昨年度は、市内全ての高校卒

業にあわせて、柏崎ファンクラブの取り組み説明と入会PRを行い、本年5月には、比角小6年生の児童を対象とする出前講座を実施した。そのほかにも、市内の各ロータリークラブ、柏崎商工会議所、コミセンなどに出向いて、ファンクラブの取り組みを説明し、入会していただけるようPR活動を行っている。

これらの活動を継続させていくことにより、柏崎での暮らしに自信と誇りを持つことにつなげ、郷土愛の醸成を図っていきたい。

水害抑止と排水機能力



秋間 一英 議員

- 1 田んぼダムについて
 - (1) 田んぼダムへの取り組み状況を伺う
 - (2) 圃場整備と田んぼダムのかわりについて伺う
 - (3) 各機関の円滑な行動のためにコーディネーターを考えてはいかがか伺う
- 2 水害と河川排水機状況について
 - ア 排水機の管理状況について
 - イ 排水機場の改修工事について
- (2) 河川の流量と排水機の

能力について
(3) 地域防災組織の行政等との連携について

農業用排水機場のポンプ能力は、春日と吉井排水機場を除き、1秒間に0・33立法メートルから2・5立法メートルと聞いた。本流(鯖石川・鶴川・別山川)に流れ出る支流からは、多くて毎秒16立法メートル流れ出ていると思う。農業用排水ポンプと知りつつも、大雨の時には、治水用ポンプとして大変大きな役目を担っている。市内の数カ

所では、いまだに大雨になると水が上がる地域が少なくない。排水ポンプの入れかえ時に、ポンプ能力のアップまたは治水用のため池の設置、支流河川の堤防のかさ上げなど、水害抑止のための設備見直しについて、市はどのように考えているのか伺いたい。

◎市長
農業用排水機場のポンプは、主に農地を守ることを目的に設置されている。ポンプの処理能力は、各排水機場の受益面積により決定しており、今後における排水機場の見直しは、受益面積内の土地開発が著しく進むなど条件が変わらない限り、現状のポンプ能力を上げることは困難と考える。なお、治水対策として、9カ所の排水機場のほか、春日や枇杷島など、平成17年(2005年)の豪雨被害に伴い、県がよしやぶ川排水機場及び源太川排水機場の増設で対応している。また、昨年度、新道排水機場でポンプ1台を追加設置し、今後、このポンプの稼働による治水効果を関係部署と連携して検証していく。

2040年問題を見据え、地域共生社会の実現を



若井 恵子 議員

- 1 防災、減災対策の取り組みについて
- 2 地域共生社会の実現を目指す
- 3 子育て安心な環境整備について

これから日本が迎える時代は、今まで例のない超高齢社会、人口縮減の時代に突入する。2040年には人口構造が大きく変化し、生産年齢人口は減少、家族も核家族から単身化へと大きく変化する。将来人口推計を見てみると、柏崎市における2040年、

◎市長
2040年問題は、2025年問題よりはるかに深刻で、今から取り組むべき大きな課題である。全年齢層の人口が減少し、とりわけ生産年齢人口が激減するターニングポイントである。この現実に鑑み、今後は、地域イコール柏崎市全体と捉える必要がある。しかし、我が事として丸ごとつなげる気持ちを持つことは大切にしても、アウトリーチによる助け合いには、おのずと限界がある。協力をボラ

るだけでは、2040年以降も持続的にまちが発展することにはつながらない。行政は、現役世代の「将来を支える力」を量的にも質的にも高めていく支援に傾注するべきである。今後、現役世代を中心に国民一人当たりの社会保障費負担は大きくなっていかざるを得ない。この点の理解と納得をいただくため、市民生活全般にわたって「豊かさの享受」が実感できるような施策の推進に努めていく。また、市民一人一人のお互いさま精神の意識を啓発していきたい。

原発再稼働の判断に 特定重大事故等対処施設を



星野 幸彦 議員

1 東京電力柏崎刈羽原子力発電所1号機～5号機の廃炉計画について

(1) 東京電力から期限内に廃炉計画が提出されなかった場合の対応

(2) 廃炉計画が提出された後の対応

2 特定重大事故等対処施設について

特定重大事故等対処施設(特重施設)は、福島第一原発事故を繰り返さないために、原子力規制委員会が設置を要求した施設である。

「特重施設」は、工事計画の認可から5年以内の設置完了期限があり、未完成のまま期限を迎えると「基準不適合」となり、施設の継続利用は認められないこととなっている。これら特重施設が設置されない状態で原発の再稼働をすることは、安全対策が不十分であり、原発過酷事故を再発させない保障がないことになると考える。

柏崎刈羽原発6・7号機の再稼働を判断するにあたり、まず、「特重施設」をきちんと設置し、安全対策をとった

上で判断しなければならぬ重要な問題と考えるが、市長の見解を伺いたい。

◎市長

特重施設について、原子炉本体施設の工事計画認可から5年以内とする現行の設置期限を延長しない、期限内に設置が間に合わなかった場合は、その発電所の運転停止を命ずるという原子力規制委員会の方針を100%支持する。

ただし、特重施設が設置されるまでは、発電所の安全対策は不十分であるため、設置

されてから再稼働判断をすべきとする考えには賛同しない。特重施設は、新規基準で新たに要求されたシビアアクシデントに対処する機能のうち、テロ対策における信頼性をさらに向上させるためのバックアップ施設で、その設置期限は、原子力規制委員会が定めた規則で規定されている。その規則が改正されない限りは、柏崎刈羽原発6・7号機の再稼働を判断する時点で、特重施設が設置されなくても、判断に影響せず、また、設置を要求する考えはない。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略における 将来見通しと課題



佐藤 正典 議員

1 「柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が5カ年計画期間の目標年度を迎えていることに関連して

(1) 将来人口推計と現在の人口動態の推移について

(2) 達成状況における分析と評価について

(3) 今後実施する施策等への意見反映について

(4) 人口減少によって生じる将来への影響と課題について

ア 懸念される影響について

この市の認識はどうか

イ 公共施設等における将来見通しと課題について

来見通しと課題について

ウ 水道事業における将来見通しと課題について

(5) 市の組織機構・職員定数及び人材育成について

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少を起因とした市財政の減少傾向が続くことで、拡大している行政需要や市民ニーズへの対応、公共施設整備や維持修繕など、市民サービスへの低下が懸念されるとの見解が示されている。また、公共施設等総合管理計画では、全ての公

共施設を維持し続けることは財政的にも困難であるとしている。

将来において予想される市民サービスへの影響や、こうした公共施設の縮小・削減の取り組みと、戦略で掲げる目標の一つである「定住を促す魅力あるまちをつくる」こととの整合性、相反する課題について、考えを伺う。

◎市長

柏崎市公共施設等総合管理計画では、限られた財源で公共施設を維持し続けていくた

め、施設の集約化や複合化を進め、40年間で約20%の延床面積の縮減を目標としている。具体的な取り組みを推進するため、昨年度(2018年度)に「公共施設等マネジメント推進本部」を立ち上げ、対象モデル地区の地域の皆様と協議を重ねながら進めているところである。

今後、公共施設の計画的なマネジメントを進めることで、限りある財源をより一層効果的に活用し、適切な財政運営を行うとともに、サービスが低下しないよう努める。

永年勤続議員を表彰

次の議員が、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から永年勤続議員として表彰されました。

村田 幸多朗 議員 (15年)

※旧高柳町・旧西山町の議員在職期間は、2分の1された期間で合算します。



永年勤続議員表彰の様子

運転免許証の自主返納と対策



荒城 彦一 議員

- 1 運転免許証の自主返納と対策について
 - (1) 本市における運転免許証の自主返納の実態と、それがもたらす課題について
 - (2) 返納者に対する支援制度や対策について
- 2 柏崎市地域医療体制のあり方について
 - (1) 本市医療体制の現状と課題について
 - (2) 本市地域医療計画と目指す医療体制のあり方について

高年齢者が運転する自動車の事故が後を絶たない。内容を見てみても、重大事故や痛ましい事故が多い。この対策として、運転免許の自主返納が進んでおり、本市でもその数がふえていると思うが、その実態と動きはどうか。

その一方で、自主返納することにより、移動手段がなくなり、日常生活や緊急対応など、不便や不都合を訴える声も多い。この現実を放置できないし、他の自治体、例えば北九州市では住民自らが交通手段を確保する「お出かけ交通事業」等さまざまな対策を講じている。本市では循環バスの割り引きなど限られた施策しかないが、地域単位で、住民・事業者・行政が連携・協力しながら、支援体制等を構築してはどうか。

◎市長
本市における運転免許証自主返納者について、平成30年では258人で、そのうち65歳から74歳までが37人、75歳以上が213人、高齢者以外が8人となっている。今後の計画について、現在、市街地循環バスの高齢者割引を実施しており、この10月から高齢者割引を越後交通が運行する市内の全路線に拡充する予定である。また、運転免許証自主返納者に限らず、地域包括ケアシステムの構築において、高齢者と周りの人々が健康やかに安心して暮らし続けられるよう、交通手段の確保、買い物支援、災害時・緊急時、医療・介護などの不安や不便に寄り添いたい。これらの地域課題の解決に向け、市の関係部署が横断的に取り組むとともに、市民、関係団体の皆様との連携を図っていく。

市議会議員は
次のような行為が
法律で禁止されています

皆様のご理解をお願いします



年賀状などの
時候のあいさつ状



卒業祝・入学祝



お中元・お歳暮や
お年賀



結婚祝・香典
(本人出席を除く)



祭りや旅行などの
差し入れ

使
い
み
ち

調査研究費	市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託のための経費
研修費	研修会を開催する経費、研修会に参加する経費
広報費	会派の活動及び市政について市民に報告するための経費
広聴費	市政及び会派に対する要望などを聴くための経費、住民相談等のための経費
要請・陳情活動費	要請・陳情活動を行うための経費
会議費	会派が行う会議、意見交換会など各種会議に参加するための経費
資料作成費	資料作成のための経費
資料購入費	図書、資料等の購入のための経費
人件費	活動を補助する職員を雇用するための経費
事務所費	事務機器等の購入、リースのための経費

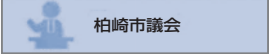
会派名	市民クラブ ※7	市民の会 ※8
所属議員名	春川 敏浩 阿部 基 三宮 直人	阿部 基 ※9
交付額	960,000	80,000
利息	2	0
収入合計	960,002	80,000
調査研究費	48,725	0
研修費	254,662	0
広報費	0	0
広聴費	0	0
要請・陳情活動費	0	0
会議費	138,540	0
資料作成費	0	0
資料購入費	63,720	0
人件費	0	0
事務所費	3,562	0
支出合計	509,209	0
差引残額(返還額)	450,793	80,000

- ※1 平成31(2019)年3月29日議員辞職
- ※2 平成30(2018)年12月31日議員辞職
- ※3 平成31(2019)年1月31日議員辞職
- ※4 「決断と実行」は
平成30(2018)年1月1日1人脱退
平成30(2018)年12月31日1人議員辞職
平成31(2019)年1月31日1人議員辞職
平成31(2019)年2月1日1人加入
- ※5 「整風会」は
平成30(2018)年12月1日結成
平成30(2018)年12月21日所属議員死亡により、
平成31(2019)年1月1日から2人から1人に変更
- ※6 「結」は
平成30(2018)年12月1日結成
- ※7 「市民クラブ」は
平成30(2018)年11月30日解散
- ※8 「市民の会」は
平成30(2018)年12月1日結成
平成31(2019)年2月1日解散
- ※9 荒城議員・三宮議員・阿部議員は会派に所属していませんが、政務活動費は会派に交付するため、1人会派として交付しています

インターネット中継のご案内

柏崎市では、本会議、全員協議会及び委員会の様子をインターネットで中継(ライブ及び録画)しています。

柏崎市ホームページ右にある

 をクリックし、「会議録・議会中継・傍聴」のページからご覧いただけます。

※スマートフォン・タブレットからも視聴できます。



平成30(2018)年度 政務活動費会計報告

柏崎市では、市議会の会派が行う市政に関する調査研究などの活動に対し、政務活動費を交付しています。議員1人当たり年48万円を会派に交付しています。

(令和元(2019)年度からは、議員1人当たり年36万円を会派に交付しています)

残額が生じた場合は返還してもらいます。

会派名	自治研究会	日本共産党 柏崎市議員団	公明党	民社友愛	柏崎のみらい
所属議員名	村田幸多朗 布施 学 加藤 武男 ※1	持田 繁義 五位野和夫	若井 恵子 真貝 維義	佐藤 和典 相澤 宗一	飯塚 寿之 佐藤 正典 重野 正毅
交付額	1,440,000	960,000	960,000	960,000	1,440,000
利息	8	4	2	2	4
収入合計	1,440,008	960,004	960,002	960,002	1,440,004
調査研究費	0	90,210	146,045	513,245	223,178
研修費	0	0	267,180	150,000	582,247
広報費	0	370,587	117,513	0	0
広聴費	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0
会議費	89,210	50,200	123,060	145,740	136,520
資料作成費	0	0	0	0	0
資料購入費	2,808	92,724	111,318	9,720	112,664
人件費	0	0	0	0	0
事務所費	0	6,207	23,320	25,453	99,077
支出合計	92,018	609,928	788,436	844,158	1,153,686
差引残額(返還額)	1,347,990	350,076	171,566	115,844	286,318

会派名	決断と実行 ※4	社会クラブ	整風会 ※5	平成会	結 ※6
所属議員名	星野 正仁 上森 茜 阿部 基 柄沢 均 斎木 裕司 与口 善之 ※2 三井田孝欧 ※3	矢部 忠夫 若井 洋一 笠原 晴彦	春川 敏浩 丸山 敏彦 ※5	荒城 彦一 ※9	三宮 直人 ※9
交付額	3,080,000	1,440,000	200,000	480,000	160,000
利息	9	7	0	1	0
収入合計	3,080,009	1,400,007	200,000	480,001	160,000
調査研究費	921,121	68,080	0	46,370	0
研修費	372,916	73,527	0	0	0
広報費	1,002,277	0	45,496	0	0
広聴費	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0
会議費	392,000	87,740	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0
資料購入費	31,816	159,972	0	146,340	34,884
人件費	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	10,600	161,942	0
支出合計	2,720,130	389,319	56,096	354,652	34,884
差引残額(返還額)	359,879	1,050,688	143,904	125,349	125,116

災害対策支援本部を設置しました

6月18日午後10時22分頃、山形県沖で発生した地震を受け、災害対策支援本部を設置し、市長から被害状況等の報告を受けました。

また、柏崎刈羽原子力発電所プラント状況についての柏崎刈羽原子力発電所から柏崎市への報告ファクスにおいて、誤った内容の報告があったことから、6月19日に東京電力ホールディングス株式会社に対し、市が申し入れを行う際、真貝議長及び佐藤副議長が同席し、口頭で申し入れを行いました。



災害対策支援本部役員会議の様子

東京電力ホールディングス株式会社に申し入れをしました

6月18日に発生した地震の対応について、東京電力ホールディングス株式会社に対し、6月26日に真貝議長及び佐藤副議長が申し入れ書を手渡しました。

市議会では、今回の事案の原因解明をしっかりと行い、改善策を講じるとともに、今後このようなことのないよう強く求めました。



申し入れの様子



9月定例会議・日程予定

変更の場合は、ホームページでお知らせします。

Table with 7 columns (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and 6 rows of meeting dates and topics. Includes dates like 9/1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12.

編集後記

6月18日夜10時過ぎ、我が家のテレビからアラームが鳴る。「なんだろう」とのんきに構えてテレビを見ると緊急地震速報。これは大変とパソコンだけ持って外に脱出。この間10秒程度か。「なんだろう」と思った分だけ遅れてしまった。まさに「災害は忘れたころにやってくる」という状況であった。幸いにも柏崎市では大きな被害はなかったが、村上市を初め揺れが強かった被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

平成から令和の新时代を迎え、地震、豪雨などの災害がないことを願うばかりであるが、改めて、この度の地震を教訓にしていきたい。(三宮 直人)

広報広聴常任委員会

- 委員長 佐藤 正典
副委員長 布施 学
委員 三宮 直人, 重野 正毅, 樋口 良子, 星野 幸彦, 山本 博文, 相澤 宗一, 若井 恵子, 春川 敏浩, 柄沢 均